

通勤・通学だけじゃない、景観美やイベントの数々

フルーツライン 左沢線を再発見。

大正11年の全線開通から93年の長きにわたり、大江町・寒河江市・中山町の人々の足を支えてきた左沢線。昭和47年までSLが運行していた歴史のある路線は、今もみんなの夢を乗せて走り続けています。

取材協力／東日本旅客鉄道株式会社 左沢線営業所
取材／茂木勝之 デザイン／星川忠平 写真／奥山茂俊



運転だけじゃない、二人5役の 左沢線運転士の仕事

〈Moriver編集部〉 地元大江町の出身で左沢線の運転士として働く庄司拓実さんに、普段のお仕事の様子や左沢線の魅力について、また、左沢線営業所所長（寒河江駅長）の遠藤伸一さんには、左沢線の歴史やイベント企画に関するお話をお伺いしました。

『列車の一番前で
景色を眺めてみたい』が
運転士への憧れに

― 運転士になる前、左沢線を利用して
いましたか？

庄司 地元大江町出身、高校も地元だったので、通学ではなく寒河江市へアルバイトに行くときに1年半ほど利用していました。

― 左沢線での印象深い思い出は？
庄司 高校卒業後、4月1日に仙台



左沢線営業所 運転士 庄司拓実さん

庄司 白河の総合研修センターで学科を4ヶ月、現場で実際の運転のことを約半年間学びます。学科、仮免、実地と自動車教習に似ています。また、左沢線は気動車といってディーゼルエンジンの運転免許も取らなくてはなりません。気動車の免許がないと、左沢線の列車は運転できないんです。

― 運転士になるにはどんなことを学
びますか？
庄司 お客さまを目的地まで安全かつ時間を正確に運ぶことが第一です。運転だけではない列車の点検など表にでない部分の仕事も多くあります。車掌が乗務しないワンマン列車が主で、そのときは運転士が車掌も兼務します。他に車両点検、検修、車両の入れ換え時にポイントを返す入換の仕事も兼任です。それに、列車の清掃もしていますので、運転士、車掌、検修、誘導、車両の外板清掃の一人5役ですね。



お客さまを目的地まで安全に運ぶために、確認は怠りません

電車ではなくディーゼルで動く気動車



車両の清掃も自分たちの手で

車両の運転から清掃、車掌
まで様々な役割をこなして
左沢線の運行を支える

― 運転士の仕事内容にはどんなもの
がありますか？

庄司 運転士になるのが夢という子ども
達にメッセージをどうぞ。

― 運転士になるのが夢という子ども
達にメッセージをどうぞ。

― 運転士になるのが夢という子ども
達にメッセージをどうぞ。

― 運転士になるのが夢という子ども
達にメッセージをどうぞ。

― 仕事で気を付けていることは？

庄司 運転の時間と、お客さまが揺れないように停めることです。お年寄りの方等へのコミュニケーションも大切にしています。

― 乗車中の雰囲気はいかがですか？

庄司 高校生が、優先席を必要とする方に、席を譲ってくれるアットホームさがあります。

― 運転士になって良かったことは？

庄司 駅でお出迎えやお見送りをしている様子がドラマのようで、それが見られるのは乗務員の特典かなと思います。あとは子ども達に手を振ってもらったときも嬉しいですね。

― 運転士になるのが夢という子ども
達にメッセージをどうぞ。

庄司 今できることを一生懸命やる
ことじゃないかと思っています。なんでも
まずチャレンジしてみるんです。